

## 第8回岡山県がん診療連携拠点病院公開講座実施要項

### 1. 開催趣旨

本講座は、岡山県がん診療連携拠点病院とそのがん相談支援センターの役割を広く市民に広報するために行なっており、2007年度より始めて今回で8回目になります。

これまで行なった市民公開講座の参加者へのアンケートにおいて、今後取り上げてほしい内容の上位には毎年「がん患者の心のケア」「がんになったときの心構え」等のこころの問題が上げられます。そこで、今年度の市民公開講座では「がんと向き合い方」をテーマに取り上げたいと考え、日本対がん協会会長 垣添忠生先生を講師にお迎えし、講演会を開催することになりました。

垣添先生は、泌尿器科の医師として長年がん患者と向き合ってこられ、患者の個別性や想いを大切にされた医療を実践してこられました。また、ご自身のがんのご体験、奥様をがんで亡くされたご家族としてのご体験、そして日本対がん協会の会長としてのお立場から先生のご経験、お考えをお伺いすることを通して、がん患者や家族、そして支援者が病气と向き合う力や励みをいただけるのではないかと考えます。

がんになってもあたりまえの生活を送るために、患者、家族と支援者は病气とどう向き合えばよいのか、市民の方々と共に考える時間としたいと考えています。

2. 日 時 平成27年1月25日（日）10：00～12：00（9：30～受付開始）

3. 会 場 Jホール（Junko Fukutake Hall）  
岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学病院内

4. 内 容

10：00～ 開会挨拶

岡山県からの報告

がん相談支援センターの取り組み

10：30～ 基調講演

座長 岡山大学病院精神科神経科長 内富 庸介教授

演題『がんと向き合って』

講師 国立がんセンター名誉総長

厚生労働省がん対策推進協議会前会長

(財)日本対がん協会会長 垣添 忠生先生

12：00 閉会

5. 対 象 一般市民、保健・医療・福祉関係者、等

6. 参加費 無料

7. 主 催 岡山大学病院

8. 後 援 岡山県がん診療連携協議会、岡山県、岡山市、(社)岡山県医師会、(社)岡山市医師会、(社)岡山県看護協会、(社)岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、岡山県医療ソーシャルワーカー協会、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、野の花プロジェクト (予定)

講師略歴

垣 添 忠 生 (かきぞえ ただお)

生年月日：昭和 16 年 4 月 10 日 出生地：大阪

1967 年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972 年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975 年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987 年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992 年 1 月に病院長、同年 7 月に中央病院長、2002 年 4 月総長に就任し、2007 年 4 月国立がんセンター名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。聖路加看護大学大学院特任教授を務める。専門は泌尿器科学だが、膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心をもっている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしている。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、瑞宝重光章などを受賞。

主な著書：発がんからみた膀胱がんの臨床 (メディカル・ビュー社)、がんと人間 (共著 岩波新書)、患者さんと家族のための がんの最新医療 (岩波書店)、前立腺がんで死なないために (読売新聞社)、妻を看取る日 (新潮社)、悲しみの中にいるあなたへの処方箋 (新潮社)、がんと人生 (中央公論新社) など。